

三島森田病院

第10回 ホスピタリティ コンサート

音楽療法として、言葉を介さず一流の音楽により、心と身体の調子を整え
感動を体験することを目的としてコンサートを開催します

青柳 いづみこ
Piano Concert

Program

- フランソワ・クーブラン : クラヴサン曲集より 百合の花ひらく / 葦 / 恋の夜鶯 / 神秘のバリケード
フランツ・シューベルト : 4つの即興曲 作品90 (D899) より 第1番 ハ短調 / 第3番 変ト長調
エリック・サティ : 3つのグノシエンヌ / メドゥーサの罨 / 官僚的なソナチネ
クロード・ドビュッシー : 前奏曲集第一巻より デルフの舞姫たち / 音と香りは夕暮れの大きに漂う /
雪の上の足跡 / 亜麻色の髪乙女 / 沈める寺 / ミンストレル



2025.1.13 (月・祝)

開場 13:30 開演 14:00
長泉町文化センター
ベルフォーレ ホール

入場無料 全席自由 事前申込等不要です

入場対象者 乳幼児を含めどなたでも入場できます

◎お問い合わせ先 三島森田病院 TEL: 055-986-3337



■ 主催 三島森田病院 ■ 後援 長泉町

三島森田病院の森田療法とは

森田療法は、東京慈恵会医科大学 精神科の初代教授であった森田正馬（もりたまさたけ）が100年前に創始した神経症（不安症・強迫症等）に対する日本発の精神療法であり、現在の当病院の理事長・院長 森田正哉はその曾孫にあたります。本療法は薬物によらず症状を「あるがまま」に受け入れることで健康な日常生活を回復させていきます。本療法では、神経症の根底にある不安や死の恐怖は自然な感情であり、より良く生きようとする人間本来の欲望（生の欲望）と表裏一体の関係にあるものと理解します。にもかかわらず神経症の患者さんは、自己の不安を排除することに努力を傾ける結果、かえって不安が増幅し症状にとらわれていきます。本療法の核心は、このようなとらわれを打破することであり、太陽の光を浴び土に勤しむ農業や工芸を通じて生活のリズムを取り戻し、患者さんが自己の不安も生の欲望も自然な人間性として受容し、「あるがまま」の自己を現実にかたしていかれるよう治療していきます。尚、当初は神経症が対象とされておりましたが、ストレスの多い現代社会において薬物療法では限界のある難治といわれる多彩な症状に対しても、病態によっては本療法の効果が確認されております。

出演者 Profile

青柳 いづみこ（ピアニスト・文筆家）



安川加壽子、ピエール・バルビゼの両氏に師事。マルセイユ音楽院首席卒業、東京藝術大学大学院博士課程修了。『ドビュッシーと世紀末の美学』で学術博士号を取得。平成2年度文化庁芸術祭賞を受賞。演奏と文筆を兼ね、著作は34点を出版、CDは25枚をリリース、その内の21枚のCDが『レコード芸術』誌特選盤となるほか、『翼の生えた指』で吉田秀和賞、『青柳瑞穂の生涯』で日本エッセイストクラブ賞、『6本指のゴルトベルク』で講談社エッセイ賞、CD『ロマンティック・ドビュッシー』でミュージックペンクラブ音楽賞を受賞。近著では『パリの音楽サロン』（岩波新書）を出版、CDではクリストフ・ジョヴァニネッティとのデュオで『19歳のシューベルト』（ALM）をリリース。日本演奏連盟理事、日本ショパン協会理事、大阪音楽大学名誉教授、兵庫県養父市芸術監督。 HP：<https://ondine-i.net>